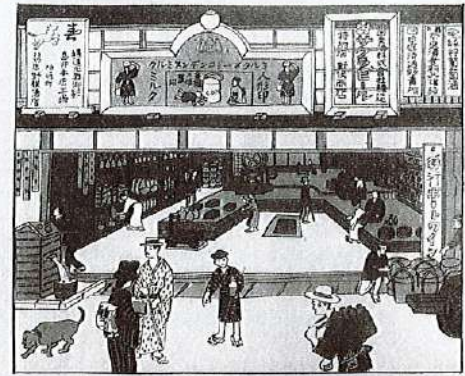


またのもて

お慶
様で、

50号

明治時代頃のノマタ酒店



和洋酒類惣商
食料品雜貨商
正
喜望園二丁目
柏崎市東本町二丁目
野俣商店

いつもありがとうございます。ノマタ酒店五十嵐竜太です。今回でまたのもて50号を迎えることができました。パチパチパチ♡と、そしてですえー、実は当店、今年でなんと父親がノマタ酒店を引き継いで50年目を迎えることができましたー!!パチパチパチ♡現在は兄の健也が後を継いで、日々お客様に喜ばれる旨いお酒を提供させていただいております。これからもノマタ酒店従業員一同、とれいっても、ほぼ家族(笑)で旨いお酒で、感動と喜びを提供し続けていけるように精進してまいります。あなた様には末長くお付き合いのほどよろしくお願い致します。

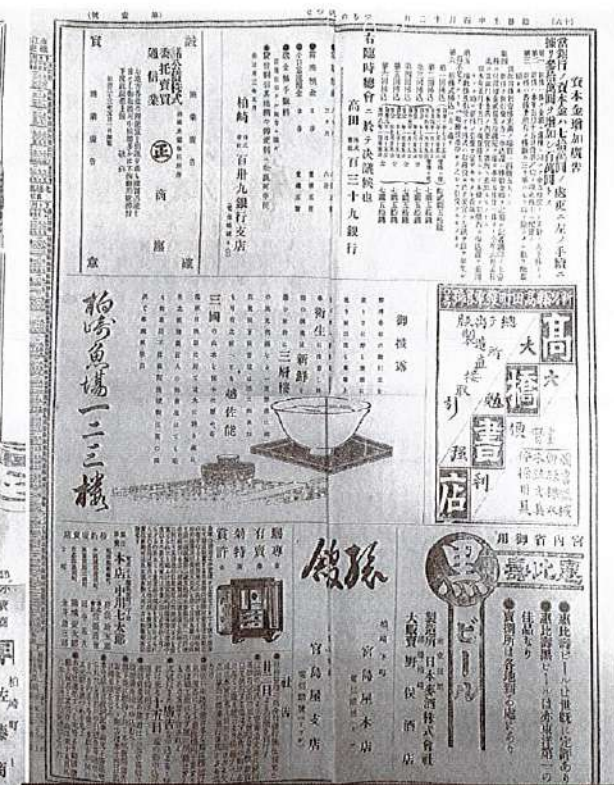
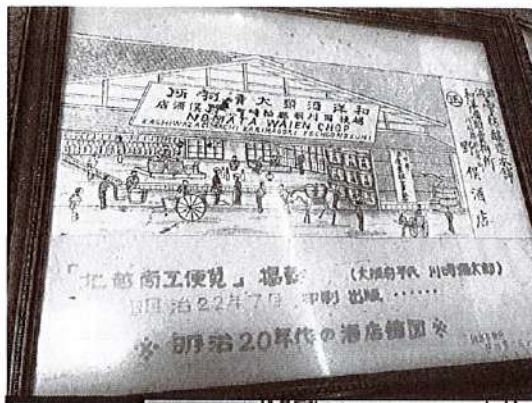
先日、朝礼で、『そうそう、おやじが引き継いでから50年迎えたよね。明治のいつころから野俣さんは商売していたの?』そこで、父親が大切に保管していた昔の野俣商店時代からの新聞など資料を出してきて調べてみたら、

なんと、
明治元年には、
造り酒屋として商売
をはじめていたようです!!

た老舗の面影 (商号・所在・電話等いず)

<p>野俣酒店 柏崎市西本町二丁目 電話 二二一九番</p>	<p>明治元年、初代庄兵衛氏は酒造業をはじめ、官軍の攻撃に無防備都市柏崎は危機にひんして、氏が身の危険をかえりみず攻撃中止の交渉を重ね、ついにその保障を勝ちとったエピソードは今日でも語りつがれている。二代目捨五郎氏は政界に進出、三代目建太郎氏は神戸の業商カネ辰と取引当時としてはめづらしいミルクやチョコレートなど手広く商売していた。現在の秀雄氏は四代目にあたる。酒造業は中止し酒類全般の販売をしている。</p>	<p>花田屋呉服店 柏崎市東本町二丁目 電話 二〇四二番</p>

裏面へどうぞ➡



明治20年代の店舗絵

宮内省御用
恵比壽
 具具水城

●恵比壽ビールは世既に定評あり
 ●恵比壽黒ビールは亦東洋第一の
 佳品なり
 ●賣捌所は各地到る處にあり

製造所 日本酒株式会社
 大販賣所 保 酒店
 宮島屋本店

新和洋新年
 恭賀新年

○酒類類所食料各種々
 ○例年の通り明日は特別割引の上租
 景景上仕候
 取入印紙賣捌所

清酒白梅本舗 野 保 酒店
 和洋新年

昔、載せていた新聞広告

ちゃんと調べていませんが、もしかすると明治になる前から何らかの商売をしていたのかもしれませんが。明治元年からお酒に携わってきたようですが、それにしても、造り酒屋だったとは。。。どんなお酒だったのでしょね？まあ、昔なので庶民が毎晩飲むためのお酒を提供していたのだろうし、現代のように環境や設備、技術などを考えると今の人には合わない味かもな〜。気にはなりますが(笑) お酒の名前は、

【銘酒 志ら梅(しらうめ)】

といいます。いい名前だと思いますか？

「もし、現代の造りで復活したら。。。」

その想いを実現すべく、50周年特別企画【志ら梅復活プロジェクト】

始動します!! 先ずは。。。どんなカタチになって誕生するかご期待下さい!!!



優等賞をいただいた時に作られた記念の盃だそうです。